

豊潤の里 たより

本郷産廃場周辺 止まらぬ水質汚染

～ 広島県内ごみ行政、何かおかしくない？ ～

広島県のゴミを巡る行政、何かおかしくないですか。

前号(10月号)で掲載した広島県が「全国有数のゴミ埋め立て県」であること。そこには、ゴミ処理をめぐる産廃業者のビジネスチャンスが生まれ、県内外の事業者が処分場建設・拡張に向けて動いていることが考えられます。その結果、ゴミ残存容量(あとどれくらい埋め立てられるか)が全国一位(約863万 m^3)、その割合は全国の約13%と、広島県民なら誰しも腰を抜かしそうな状況になっています。「ゴミがゴミを呼ぶ」という負のサイクルの中に広島県がある限り、今後更なる県内へのゴミ搬入は進んでいく可能性は大きいと考えられます。

その渦中にあるのが、本郷処分場や上安処分場(安佐動物公園近く)です。本郷処分場を巡っては、東京の業者 JAB 協同組合が管理を行っています。処分場内から染み出た水の汚れが法定基準値を上回り、広島県は4度の行政指導を行いました。その中には法定水質基準値の最大1.8倍の鉛が検出されたことも含まれています(県の検査結果)。

「三原・竹原市民による産廃問題を考える会」によれば、処分場直近の農家5軒が稲の作付けを断念したとのこと。黒い泥土や薬品臭のする泡水が流れ出てきて、取水に困惑したからです。産廃物は入り続け、三原側ではすでに計画の8割が埋め立てられ、竹原側は山の木々が伐採され搬入準備に入っています。放射性物質の搬入についても県に問い合わせたところ、県による搬入許可を確認しました(2024.8.19)。

同考える会は県に陳情を行ったり、処分場建設差し止め訴訟を闘ったりして、水を守る、命を守る活動を懸命に行っています。

その背景には、冒頭述べたように広島県が「全国有数のゴミ埋め立て県」であることが考えられます。上安処分場に多量の野積みされたゴミが放置されています。このゴミは春日井市(愛知県)をはじめ、東は茨城県から西は福岡県までの、23都府県から搬入され、周辺住民は水質汚染の不安にさいなまれています。この現実が身近な現実になるかもしれないという意識を持って、産廃問題を考える他団体とも連携しながら取り組んでいきます。

なお赤崎処分場建設計画は、今現在も続いています。



第8回 木谷福寿の会

10月4日、木谷自治協主催の敬老事業「木谷福寿の会」が開催され、77歳以上（今年度末現在で）の招待者74名が出席しました。会ではこれまでの地域貢献への感謝と健康長寿を願い、保育所園児、小学生、中学生、現役世代がそれぞれの演目を披露しました。



来賓の高垣市長からお祝いの言葉をいただきました。



最初の演目は木谷小5・6年生による蛟龍太鼓19代目「仁龍」の演奏。練習の成果を余すところなく発揮し、息の合った力強いリズムが館内に響き渡りました。



木谷保育所のかわいい園児5人が、「エビカニクス」「ラーメン体操」の歌に合わせて、元気いっぱい体操を披露しました。



木谷小3年生児童が、作文を発表。題名は「私のおじいちゃん・おばあちゃん」。畑で一生懸命野菜を育てたり、誕生日を祝ってくれたりする祖父母への敬愛・感謝の気持ちと健康長寿を願う思いが伝わってきました。



安芸津中の吹奏楽部は、おなじみの数曲を演奏。締めは「祝 みなさん！元気でお願いします！」のお祝いメッセージ。



最後の演目は「はつらつ会」による“いきいき体操 東広島”。保育園児なども舞台上がり、みんなでからだをほぐしました。



子どもたちが描くおじいちゃん・おばあちゃんは、全員にここに顔です。これはふだんから子どもたちに笑顔で接していることのあらわれでしょう。子どもたちにとっては、いつも優しいおじいちゃん・おばあちゃんなのでしょう。

赤崎海岸観察会(龍王住民自治協と共催)



「親子で楽しく磯・浜観察」

～自然豊かな木谷の海を楽しむ～

10月5日、西条町の龍王小学校区の子どもたちと保護者など65名が参加。干潟で生き物を探し、広大名誉教授の大塚攻さんや、ひろしま自然学校の古本敦子さんから説明を受けました。大塚さんは「食物連鎖によりすべての生物は繋がっている。汚染物質やマ

イクロプラスチックも食物をととして私たちの体に入ってくる」と警鐘を鳴らしました。

木谷の海をきれいにしよう(こども夢拾い)



東広島が発祥の地で、“ゴミ＝夢”と考えるゴミ拾いのボランティア団体「夢拾い」。10月13日、この団体が赤崎さざなみ荘下の浜辺で「夢」を拾いました。スタッフを含む大人とこども63名が、プラ容器や小さく砕けた大量の発泡スチロールなどを拾い集め、海岸をきれいにしてくれました。

木谷のお祭りで巫女舞を奉納



10月18・19日、木谷地域の安全と繁栄を祈願して、重松神社のお祭り(例祭)が行われました。今年は伝統の大名行列は行われず、神事のなかで木谷小6年生による巫女舞が奉納されました。来年の秋祭りは大名行列も予定されており、木谷フェスティバルと併せこれまで同様の賑やかなお祭りになることが期待されます。

安芸津バイパスの「木谷トンネル」工事終了



木谷トンネル
2025年10月
中国地方整備局
延長 295m 幅 7.5m 高さ 4.8m
設計会社 株式会社オリエントコンサルタンツ
管理技術者 佐野 孝
施工会社 安芸建設株式会社
監理技術者 宇野 淳平

安芸津バイパスのうち、郷地区の防地と神谷（こうだに）を結ぶ「木谷トンネル」（全長295m）の本体工事が10月末に終了しました。昨年7月に安全祈願祭を行ってから1年余りの工事期間でした。この間、現場見学会が2度開かれ、多くの地域住民が最新技術を見聞しました。写真は神谷側から写したもので、防地側の出入口がすぐ近くにあるように見えます。

部会活動紹介

体育振興部会



9/28 東広島市民スポーツ大会
今回は球技の部の大会。木谷チームは室内ペタンク種目で準優勝。尾里選手団長は「準優勝は練習の賜物。来年も目標を立て、それに向かってしっかり練習していきたい」と話していました。

総合成績		得点
グラウンドゴルフ	男子	15
	女子	13
ソフトバレーボール	男子	欠
	女子	15
ソフトボール		15
室内ペタンク		19
陸上の部(6月1日)		89
合計		166
順位(／32)		24

環境衛生部会



10/25 今年最後の木谷郷川の美化活動

今年最後となる活動が11名の参加により行われました。今回はこれまでどおりの土手の草刈り作業に加え、ツツジやサツキなどにまわりついているクズを取り除く作業も行いました。

＜木谷公衆衛生推進協議会＞

木谷の人口（住民基本台帳）	世帯数	人口	男	女
令和7年(2025)10月末現在	661	1368	669	699
令和6年(2024)10月末との比較	－8	－30	－9	－21